

JA全厚連情報

(毎月 1 日 発行)

No.1112 2022 年 2 月 1 日

目 次

- JA全厚連第10次3ヵ年計画等について協議
厚生連常勤役員・参事会議を開催 1
- 新型コロナウイルス感染症にかかる対応等について協議
事業企画委員会 医療事業部門を開催 2
- 経営戦略に必要な知識について研修
厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編第3クール）をWEB開催 3
- 医療体制が逼迫する沖縄県に協力
JA厚生連から看護師を派遣 4

・通信員だより

- 地域の産科医療を支えて（由利組合総合病院） 5
- ひらか研修道場冬季特別講座を開催しました（平鹿総合病院） 6
- 大規模災害訓練を開催（相模原協同病院） 7
- 神奈川県立相原高等学校より「門松」をいただきました（相模原協同病院） 8
- 職員院内美化清掃を実施（伊勢原協同病院） 9
- 正月三が日、リハビリテーション室内に神社を設営（伊勢原協同病院） 10
- クリスマス会を開催（介護老人保健施設ほほえみの丘） 11
- がん教育情報誌「がんのはなし」を発行しています（JA山梨厚生連） 12
- 2022 卒管理部総合職職員配属先申渡式を行いました（JA長野厚生連） 13
- JA長野県健康寿命創造運動「いきいき健康講座」を開催（JA長野厚生連） 14
- JA全農長野から牛乳を寄贈いただきました（JA長野厚生連） 15
- 佐久総合病院、浅間南麓こもろ医療センターでWEB病院祭を開催中です
（佐久総合病院・浅間南麓こもろ医療センター） 16
- JAにしみのより車椅子10台を寄贈いただきました（岐阜・西濃医療センター西美濃厚生病院） 18
- 形成外科講演会を開催（静岡厚生病院） 19
- クリスマス会でハンドベルを演奏（介護老人保健施設きよみの里） 20
- JA海部東「なの花の会」より心温まる手作りのプレゼントをいただきました（海南病院） 21
- 新型コロナワクチン大規模集団接種関係者に対する知事感謝状を贈呈いただきました
（JA愛知厚生連） 22
- 新棟「南棟」の竣工式を行いました（安城更生病院） 23
- 感染状況の厳しい沖縄県へ看護師派遣を行いました（JA愛知厚生連） 25
- 兵庫県農政環境部から感謝状が贈呈されました（JA兵庫厚生連） 26



JA全厚連

全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@JA-zenkouren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.JA-zenkouren.or.jp>

編集責任者 中村 純誠

J A全厚連第 10 次 3 ヶ年計画等について協議

厚生連常勤役員・参事会議を開催

本会は令和 4 年 1 月 20 日に、WEB 会議システムを用いて厚生連常勤役員・参事会議を開催した。

協議・報告事項として、(1) J A全厚連第 10 次 3 ヶ年計画、(2) J A全厚連令和 4 年度事業計画、(3) 令和 4 年度経費の賦課および徴収方法について、(4) J A全厚連の新たな組織運営について、(5) 子会社㈱コーケンの機能強化について、(6) 新型コロナウイルス感染症にかかる対応、(7) 健康管理厚生連活動推進検討会の取組み結果、(8) 厚生連の令和 3 年 11 月末経営収支状況、(9) 厚生連の令和 3 年度経営収支見込、(10) 令和 4 年度厚生労働省所管予算の概算要求等、(11) 特別交付税措置を活用した助成、(12) 令和 4 年度 J A全厚連主要会議日程、(13) その他（農業協同組合、農業協同組合連合会及び農事組合法人向けの総合的な監督指針（信用事業及び共済事業のみに係るものを除く。）の一部改正）—等について協議・報告した。

そのうち(10)の令和 4 年度厚生労働省所管予算の概算要求等について、「看護・介護職員への処遇改善への対応について各厚生連の対応状況等を取りまとめ情報共有を行って欲しい」との意見があり、すでに各厚生連の対応状況についての調査を実施し、担当部課長の意見交換を行う場を用意している旨を説明し、追加の情報や対応等あれば適宜対応していくこととした。

また、会議の終わりに各厚生連から現状について報告をいただき、「今後も厚生連グループの横のつながりで情報共有して欲しい」、「厳しい状況が続くが、協力して進んでいきたい」等の意見が述べられた。

新型コロナウイルス感染症にかかる 対応等について協議

事業企画委員会 医療事業部門を開催

本会は令和4年1月13日に、WEB会議システムを用いて事業企画委員会（医療事業部門）を開催した。

協議・報告事項として、（１）JA全厚連第10次3ヵ年計画（案）、（２）JA全厚連令和4年度事業計画（案）、（３）新型コロナウイルス感染症にかかる対応、（４）要改善厚生連等の経営状況一等について検討した。

（１）について、本会は、中長期を見通して、「健全経営支援」、「制度改正要望」、「制度対応支援」、「職員の育成」の4つの項目について重点的に取り組んでいくこととし、特に、新型コロナウイルスの影響等によりJA厚生連の急速な経営悪化が懸念されることから、収支悪化が懸念されるJA厚生連に対する早期支援をはじめとする「健全経営支援」に最優先で取り組んでいくこととした。

（３）では、政府の要請を受け、令和4年1月に愛知県厚生連が2名の看護師を沖縄県へ派遣することに触れ、医療提供体制がひっ迫している地域への看護師派遣について意見交換を行った。委員から「看護師派遣要請があれば、検討し、可能な限り対応したい」といった意見があった。一方で、「県のコロナ対応に厚生連病院が組み込まれているため、独自で判断することは難しい」、「オミクロン株の感染状況がまだ見通せないことから、現時点での派遣は難しい」といった、県との兼ね合いや、オミクロン株の影響を懸念する意見もあった。

経営戦略に必要な知識について研修

厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編第3クール）をWEB開催

本会は令和3年12月23日、24日の両日、厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編第3クール）をWEBで開催し、17厚生連から48名が参加した。

今回の基礎編第3クールでは、経営戦略に必要な知識をテーマに、①財務会計と管理会計の違い、②CVP分析（損益分岐点分析）の基礎、③設備投資意思決定の基礎、④事業計画策定の基礎—について研修を行った。

1日目は、財務会計と管理会計の違いについて講義を行い、財務会計は外部報告のための会計であるのに対し、管理会計は経営管理のための会計であり、過去・現在のデータを使って経営の意思決定に生かすものであることを学習した。また、安全性分析、収益性分析、成長性分析、生産性分析といった財務分析および経営指標の基礎について学習した。

2日目は、1日目の講義をふまえ、CVP分析の演習や設備投資意思決定の演習をグループに分かれて行った。

財務会計と管理会計の相違点を理解しましょう

財務会計と管理会計の相違点

	財務会計	管理会計
利用目的	貸借対照表や損益計算書などの企業の業績を表す財務データを定められたルールに従って作成し外部の関係者に開示していくことを目的とする。	企業の内部にある会計データを、経営者が意思決定や組織のコントロールなどに利用していくことを目的とする。
ルール	外部に企業の財務データを開示することから他の企業との比較がしやすいように一定のルールが定められている。 企業会計原則・農協法施行規則・税法など	企業の内部で会計データを利用するためのものであるため、必ず従わなければならないルールはない。
情報量	一定のルールの下で作成されるため、提供できる情報は限られている。	ルールがない企業内部の情報であるため、仕組みさえ確立すれば多くの情報を得ることができる。
データの性質	情報の正確性、客観性、比較可能性	情報の正確性、有用性、迅速性
報告書（成果物）	財務諸表（貸借対照表、損益計算書など）	予算報告書、原価計算書など決まった形式はない。

© 2021. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

研修の様子

医療体制が逼迫する沖縄県に協力 JA厚生連から看護師を派遣

令和4年1月、オミクロン株流行により新型コロナウイルスの新規感染者が爆発的に増加している沖縄県への看護師派遣の要請があり、JA全厚連では各厚生連に看護師派遣を募り、以下のとおり沖縄県へ看護師を派遣しました。

沖縄県への派遣

厚生連名	派遣人数 (実人数)	派遣期間
JA愛知厚生連	2名	1/17～1/31



©よい食プロジェクト



地域の産科医療を支えて

(JA秋田厚生連・由利組合総合病院)

令和3年9月、厚生労働省より産科医療功労者厚生労働大臣表彰の受賞者が発表され、由利組合総合病院の軽部彰宏院長が受賞しました。

この表彰は、厚生労働大臣が、都道府県知事の推薦のもと、永年にわたり地域での出産を支え、産科医療の推進に貢献してきた方々の功績をたたえるもので、田村憲久前厚生労働大臣より「全国的に分娩を取り扱う医療機関や産科医が減少する中、地域において安心かつ安全な分娩が行えるよう、地域産科医療を支えていただきました。昼夜を問わない周産期救急患者の受入れや、研修を通じた産科医療従事者の資質向上などにも御尽力いただき、産科医療の発展・向上や地域住民を守る地域医療提供体制の整備に貢献しておられることに、心から敬意を表し、御功績に対して厚く御礼申し上げます」とのご祝辞も賜りました。

軽部院長は秋田県および県外の病院勤務等を経て、平成17年より当院の産婦人科に着任、令和3年4月より当院の病院長に就任し医療の進歩を地域の患者さんに還元するべく、子宮頸がんの主な原因であるウイルスの遺伝子検査導入に尽力、精度の高い検診体制確立に向けた活動が評価され、平成26年には秋田県医師会の医学大会において医学奨励賞、令和2年には日本農村医学会の学術大会において研究奨励賞並びに日本農業新聞賞を授与された経歴もあります。

当院は軽部院長のもと、由利本荘・にかほ地域の中核病院、地域の皆さんからより信頼される病院として、質の高い医療で地域に貢献できるよう努めて参ります。



感謝状贈呈の様子

(三浦由佳通信員)

ひらか研修道場冬季特別講座を開催しました

(JA秋田厚生連・平鹿総合病院)

平鹿総合病院（齊藤研病院長）では令和3年11月30日、当院の講堂において、「ひらか研修道場冬季特別講座」を開催しました。

今回は講師として、腎臓病や膠原病を専門とされる雄勝中央病院の小松田敦院長をお招きし、「CKD（慢性腎臓病）およびAKI（急性腎障害）の治療について」という内容で講義をしていただきました。

会場には、研修医はもちろん各診療科の先生方が多数参集し、今回のテーマへの関心度の高さをうかがうことができました。研修医や医師向けの講義ということで、具体的な症例を用いた専門的な内容でした。症例について小松田院長が会場の研修医に意見を求めたり、会場の先生方から沢山の質問が出されるなど、活発なディスカッションが行われ、大変有意義な講座となりました。

当院では、研修医教育の一環として「研修医講義」を実施しています。4月の入職と同時に院内各診療科の先生方や各部署長による講義が始まり、7月まで実施します。

病院について基礎的なことを一通り学んだ後は、院内外の様々な分野の専門の先生方を講師としてお招きし、特別講義という形で定期的に行っています。この特別講義は、「ひらか研修道場特別講座」として、臨床研修病院として長い歴史を持つ当院において欠かせない名物行事となっています。

当院は、昭和43年の旧研修医制度の発足以来、多くの初期研修医を受け入れており、令和2年度までの53年間で355人の初期研修医が修了していきましました。当院の初期研修を修了した沢山の医師が、秋田県内のみならず、日本全国で活躍しています。研修医育成は、当院の重要な使命のひとつと捉えており、今後も引き続き育成に力を入れて参ります。



ひらか研修道場の様子

(三浦由佳通信員)

大規模災害訓練を開催

(J A神奈川県厚生連・相模原協同病院)

令和3年11月20日、相模原協同病院（井關治和病院長）は大規模災害訓練を開催しました。

新病院となってから初めての訓練で、トリアージ導線や予備電源、貯水槽などの設備の確認などを行いました。

自然災害が増えている現在、訓練を行うことで不測の事態に備えていきたいと思います。



会場の様子



トリアージ導線の確認



設備の確認

(新嶋友梨恵通信員)

神奈川県立相原高等学校より 「門松」をいただきました

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

令和3年12月27日、相模原協同病院（井關治和病院長）では当院に隣接する神奈川県立相原高等学校より「門松」をいただきました。

環境緑地科の3年生が6名で制作してくださったそうです。一年中落葉しない松、成長が早く生命力の強い竹、新春に開花し年始にふさわしい梅と3つの縁起物も盛り込んであり大変立派な門松でした。

コロナ終息の際には、病院でのイベント等で高校生との交流を深めていきたいです。



門松

(新嶋友梨恵通信員)

職員院内美化清掃を実施

(J A神奈川県厚生連・伊勢原協同病院)

令和3年11月26日、伊勢原協同病院（鎌田修博病院長）では医療サービス向上委員会と施設用度課共催で「職員院内美化清掃」を実施しました。

昨年は院内のみの清掃でしたが、今年は病院敷地内と外周道路のゴミ拾い・草むしりを行いました。

就業時間内にもかかわらず、各部署からたくさんの職員が参加。空き缶や落ち葉などゴミ袋およそ15個分のゴミが集まり、短時間ながらも充実した清掃活動でした。

患者様に気持ち良くご利用いただくために、今後も継続して取り組みます。



清掃の様子

(新嶋友梨恵通信員)

正月三が日、リハビリテーション室内に 神社を設営

(JA神奈川県厚生連・伊勢原協同病院)

伊勢原協同病院（鎌田修博病院長）は、令和4年1月1日から3日までの3日間、3階のリハビリテーション室内に手作りの神社を設営しました。

「入院中の患者さんに、病院にいらがらでもお正月気分を味わっていただきたい」とリハビリ室スタッフが企画。回復期リハビリテーション病棟に入院している患者さんを中心に、実際に初詣をしていただきました。

この取り組みは数年前からスタートしたもので、毎年リハビリスタッフがさまざまな工夫を凝らしており、お飾りも年々増えています。患者さんにも大変好評で、楽しんでいただけました。「入院中の生活が少しでも豊かになるように」、そんなリハビリスタッフの温かい思いが伝わるイベントになりました。



設営した神社



季節感を感じさせるさまざまな手作りの小道具

(新嶋友梨恵通信員)

クリスマス会を開催

(JA神奈川県厚生連・介護老人保健施設ほほえみの丘)

令和3年12月25日、介護老人保健施設ほほえみの丘（蒔田知美施設長）にてクリスマス会を開催しました。

職員によるハンドベルの演奏と劇、施設長によるピアノ演奏が行われ、おやつは、ケーキとコーヒーを楽しんでいただきました。

また、サンタクロースから利用者の皆さまへ、ささやかなプレゼントを配りました。職員手作りのクリスマスカードを手取るお顔が、とても楽しそうでした。



施設長によるピアノ演奏



職員による劇の様子



プレゼントを配るサンタクロース

(新嶋友梨恵通信員)

がん教育情報誌「がんのはなし」を 発行しています

(J A山梨厚生連)

J A山梨厚生連（澤井實・代表理事会長）では、山梨県のがん教育推進のための外部講師として、保健師、管理栄養士、がん検診啓発キャラクターの「謙くん信くん」による出張がん教育を行なっています。しかし令和2年から3年にかけては新型コロナウイルスの影響での出張機会が減少し、実施できた授業も中学校1件のみでした。

そこで、従来とは違った形でがん教育の推進を行なうため、今回、小中学校向けのがん教育情報誌「がんのはなし」を制作し、月に1度発行することとしました。創刊号は令和3年10月21日に発行し、県内の小中学校やJ A、関係先などに配布するとともに、ホームページからデータをダウンロードして教育現場や家庭でも活用していただけるようにしました。誌面は児童や生徒が興味を持ちやすいよう、表紙に県内在住の漫画家イセダマミコ氏による書き下ろし漫画を掲載し、主人公やその家族、そして謙くん信くんと共に毎月がんについて少しずつ学んでいく内容となっています。

J A山梨厚生連では、子どもたちががんになりにくい体づくりに取り組めるようにすること、がん予防に向けた生活習慣を家族全員で実践できるようにすることを目標に、今後もこうした活動を続けていきます。



がん教育情報誌「がんのはなし」

(志村直樹通信員)

2022 卒管理部総合職職員配属先申渡式を行いました

(JA長野厚生連)

JA長野厚生連（社浦康三・代表理事理事長）は令和3年12月17日に2022卒管理部総合職職員配属先申渡式を執り行いました。

5名の内定者が参加し、社浦康三代表理事理事長より配属先通知書が授与されました。社浦理事長からは、「来春からの学びは非常に貴重です。我々の事業の一員として活躍出来る事を心から期待しております。」と激励いただきました。

その後スキルアップ研修会を行い、ニチイ学館から講師を迎え、医療保険制度について学びました。内定者フォローや内定式など今までのイベントは全てオンラインでの開催となったため、内定者の方々と直接会うのはこの日が初めてとなりました。内定者の皆さんは最初こそ緊張感が高かったですが、時間がたつごとに徐々に打ち解けてきている様子で安心しました。次年度からの活躍に期待が膨らみます。



常勤役員との記念撮影

(山岸愛通信員)

J A長野県健康寿命創造運動 「いきいき健康講座」を開催

(J A長野厚生連)

J A長野厚生連（社浦康三・代表理事理事長）は、J A組合員をはじめ地域生活者が高齢期を迎えても、健康的に自立した生活が送れる期間（健康寿命）を延伸させることを目的に当運動に取り組んでいます。

令和3年12月15日に、J A中野市で「いきいき健康講座」を開催しました。（一財）農村医学研究所主任研究員・柳澤和也氏による「知って得する！膝・肩・腰痛予防講座」をテーマとした講座が行われ、総勢24名の女性部の方々にご参集いただきました。

膝、肩、腰痛に効く運動の中で、「立つ」「座る」の日常的動作をゆっくりとしたスピードで行うことで筋肉が温まり痛みの予防・改善に繋がることを示しました。実演を交えた講座に、体が温まり上着を脱ぐ方が多く見受けられました。

また、運動以外にも普段から気を付ける動作や呼吸方法など予防方法は多岐にわたり、忘れまいとメモを取る方の姿が印象的でした。1時間と短い時間ではありましたが、膝、肩、腰痛予防について多くを学べる貴重な講座であり、大盛況に終了しました。

今年度は年間で4つのJ A団体、各2回（計8回）までの開催に限定をしておりますが、次年度以降もより多くの方々にご参集いただけるよう取り組みたいと考えています。

各J A団体様のご応募、地域の皆様のご出席を心よりお待ちしております。



講演する柳澤氏



健康講座の様子

(山岸愛通信員)

JA全農長野から牛乳を寄贈いただきました

(JA長野厚生連)

コロナ禍で消費が落ち込み、牛乳や乳製品の原料となる生乳が大量廃棄される恐れがあるなかで、牛乳冬季需給対応事業の一環として、JA全農長野からJA長野厚生連（社浦康三・代表理事理事長）の病院へ牛乳を寄贈いただきました。令和3年12月23日に長野市のJA長野県ビルで、贈呈式が執り行われました。

全農長野県本部の西澤孝典・畜産酪農部長は「医療従事者の皆様には体調に気を付けて、業務の方に勤しんでいただけたらという意を込めて牛乳をお配りしました。十分味わっていただき、身体に健康に気を遣っていただけたらと思っています」と挨拶されました。

また、当会の丸山幸夫・総務部長は「先行きが見えない状況ですが、いただいたお心遣いをしっかり受け止めさせていただき、配布していきたいと思います」とお礼の言葉を述べました。

各施設総計で約 16,000 本の牛乳を寄贈いただきました。活力と励みにさせていただき、日々進んでいく所存です。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、今後も当会職員が一丸となって安心・安全な医療の提供に努めてまいります。



贈呈式の様子(右:西澤畜産酪農部長、左:丸山総務部長)

(山岸愛通信員)

佐久総合病院、浅間南麓こもろ医療センターで WEB病院祭を開催中です

(JA長野厚生連・佐久総合病院・浅間南麓こもろ医療センター)

JA長野厚生連佐久総合病院（渡辺仁病院長）と浅間南麓こもろ医療センター（橋本晋一病院長）では、コロナ禍のため昨年に続き、今年も来院形式での病院祭開催を中止にしました。

しかし、病院祭は地域の皆さんと接する大切な機会であり、何とか継続したいと考えました。

佐久総合病院では令和3年11月からWEB配信による病院祭を開催しており、病院公式YouTubeチャンネルで、順次動画を作成・公開しています。

また、浅間南麓こもろ医療センターでは、バーチャル病院祭を開催しています。マッターポート社の360度カメラを用いて、3Dバーチャル病院をつくり、院内各所にパネルや動画を配置しました。

この360度動画は、まるでその場にいるような感覚で、院内を見て回ることができます。配信期限は、令和4年3月31日までです。

ぜひ、佐久総合病院、浅間南麓こもろ医療センターのホームページへアクセスしてみてください。

【佐久総合病院】

詳しくはこちら(QRコード)



各職場からのメッセージをお届けします

新体験・新発見
こもろ医療センターをもっと身近に



第4回
JA長野厚生連
浅間南麓こもろ医療センター

バーチャル病院祭

へようこそ!

～インターネットでこもろ医療センターを探索してみよう～



病院内を最新鋭の
360°カメラで撮影
3D化しました



3Dで再現されたバーチャル病院内を探索
バーチャル病院内に設置された“クイズ”や“パネル”を見つけて楽しもう!

コチラにアクセス





診療科ごとのパネル展示



普段は入れない手術室などを探索!



動画配信



ご挨拶
新型コロナウイルス感染症対策のため、本年はバーチャル病院祭を開催します。
おそらく日本初となる3Dバーチャル病院をつくり、
院内各所にパネルや動画を配置しました。是非ご来場ください。
.....

院長 橋本晋一

お宝探し

病院シンボルマークを探して“6つの文字”を組み合わせましょう。
回答していただいた方の中から抽選で30名の方に
1,000円分のQUOカードをプレゼント!

詳しくは
こちら▶ 



長野県厚生農業協同組合連合会
浅間南麓こもろ医療センター

お問い合わせ

0267-22-1070 (代表)

配信期限 **令和4年 3/31(木)**

浅間南麓こもろ医療センター 第4回病院祭ポスター

(山岸愛通信員)

J Aにしみのより車椅子 10 台を 寄贈いただきました

(J A岐阜厚生連・岐阜・西濃医療センター西美濃厚生病院)

岐阜・西濃医療センター西美濃厚生病院（前田晃男病院長）は、J Aにしみのから車椅子 10 台を寄贈いただきました。

寄贈された車椅子は、利用者が立ち上がった際に後ろに動かないノンバックブレーキシステムを搭載した車椅子 7 台と利用者の身体を持ち上げることなく移乗出来る横乗り車椅子 3 台です。

令和 3 年 12 月 13 日に西美濃厚生病院において贈呈式が行われ、J Aにしみの・小林徹組合長から「地域の皆さんが元気になるように活用いただきたい」と目録が手渡されました。前田病院長は、「当院は車椅子の利用が多く、大変ありがたい」と述べ、感謝状を贈りました。



左からJAにしみの・小林組合長、西美濃厚生病院・前田病院長

(寺師史華通信員)

形成外科講演会を開催

(J A 静岡厚生連・静岡厚生病院)

J A 静岡厚生連静岡厚生病院（水野伸一病院長）は令和 3 年 11 月 18 日と 12 月 9 日の 2 日間、静岡厚生病院内にて形成外科講演会を開催し、地域住民らが参加しました。

眼瞼下垂を始めとする形成外科の領域における健康の問題等について、形成外科医師が講演を行いました。

参加者は熱心にメモを取り、多くの質問が出ていました。



形成外科講演会の様子

(望月俊宏通信員)

クリスマス会でハンドベルを演奏

（JA静岡厚生連・介護老人保健施設きよみの里）

介護老人保健施設きよみの里（伊藤歩施設長）は令和3年12月17日、施設内で一足早いクリスマス会を開催した。

職員がハンドベルを演奏し、「きよしこの夜」「赤鼻のトナカイ」など全6曲を披露した。館内にはきれいな音色が響き渡り、利用者はクリスマスムードを味わっていた。

鑑賞後はおやつのクリスマスケーキを食べ、楽しいひと時を過ごしていた。



クリスマス会の様子

（望月俊宏通信員）

J A海部東「なの花の会」より心温まる 手作りのプレゼントをいただきました

(J A 愛知厚生連・海南病院)

海南病院（奥村明彦病院長）では令和3年11月25日、J A海部東の助け合い組織「なの花の会」よりコロナ禍で奮闘する職員に対し、心温まる手作りのプレゼントをいただきました。

なの花の会では、6月に行われた「保健福祉表彰」の団体表彰受賞をきっかけに、地元にある海南病院へ感謝と応援の気持ちを届けたい、という思いから紙コップを加工した手作りプレゼントの制作が行われました。

贈呈式では、奥村病院長より「このような素敵な贈り物は職員の励みになります。」と感謝状が手渡されました。



贈呈式の様子

一つ一つ手作業で作られた 1400 個の手提げ付きの紙コップの中には甘いお菓子が詰められていました。
海南病院では、全職員に配布されました！

(井桁千聡通信員)

新型コロナワクチン大規模集団接種関係者に対する知事感謝状を贈呈いただきました

(JA愛知厚生連)

令和3年11月29日、愛知県庁にて、新型コロナウイルスのワクチン接種で、大規模集団接種会場の開設や運営に協力した医療機関・関係団体・企業に対して、愛知県大村知事より感謝状が贈られました。

JA愛知厚生連（宇野修二・代表理事理事長）は、7月3日～11月6日の毎週土日で安城更生病院（度会正人病院長）に設置した大規模集団接種会場にて、職員が輪番で運営にあたり、これまでに、3万317回の接種を実施しました。

現在は、令和4年2月5日から始まる3回目接種会場として開設準備をすすめています。

※大規模集団接種会場の運営の詳細は、対外広報誌「With 厚生連情報 2月号」をご覧ください。

<http://www.jaaikosei.or.jp/magazine/info/>



感謝状授与式の様子。長谷川会長と宇野理事長が参加しました。

(井桁千聡通信員)

新棟「南棟」の竣工式を行いました ～がん医療・急性期医療・災害医療・予防医療の強化へ～

(JA愛知厚生連・安城更生病院)

安城更生病院（度会正人病院長）は、今後の医療・介護需要のピークに備える設備を整えるため「発展的再構築」プロジェクトを進行しています。

令和3年12月3日、プロジェクト第2弾となる新棟「南棟」の竣工式と内覧会を行いました。

南棟には、化学療法を担う血液・腫瘍内科病棟及び通院医療センター、ハイブリッドラボを備えた血管撮影室を擁し、集中治療病床を拡充した循環器センターを移設しました。

大幅に拡張し新たに女性専用エリアを設ける予防医療センターは、乳がん・膵臓がんをはじめすべてのがんから脳・心血管疾患、生活習慣病まで幅広くカバーする豊富なメニューを用意しています。

プロジェクト第1弾として令和3年6月にオープンした高精度放射線治療センター、令和4年6月までかけて行う既存棟の改修を含め、予防から診断・治療そして緩和医療までをシームレスにつなぎ、患者さんに寄り添った医療を提供し続ける体制を整備します。



竣工式 南棟の前でテープカットを行う様子



長谷川会長から工事関係者へ感謝状授与



竣工式の様子



内覧会の様子

(井桁千聡通信員)

感染状況の厳しい沖縄県へ 看護師派遣を行いました

(J A 愛知厚生連)

J A 愛知厚生連（宇野修二・代表理事理事長）は、新型コロナウイルスの感染が拡大している沖縄県への支援のため、下記のとおり沖縄県へ看護師を派遣しました。

派遣期間：令和 4 年 1 月 17 日（月）～ 1 月 31 日（月）

活動場所：沖縄県内の入院待機施設

活動内容：新型コロナウイルス陽性患者に入院調整が整うまで一時的に待機する施設での看護業務の支援

派遣人員：J A 愛知厚生連の看護師 2 名

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、困難な状況を乗り越えるため、本会も 2 名の看護師を派遣いたします。沖縄の厳しい状況を打開し、少しでも早く沖縄県の皆様に平穏が戻るよう、力を尽くしてまいります。

(井桁千聡通信員)

兵庫県農政環境部から感謝状が 贈呈されました

(JA兵庫厚生連)

令和3年12月15日、神戸市内の県農業会館にてJA組合長会議が開催されました。

その中で、JA兵庫厚生連（福本博之・代表理事会長）は、7月から10月にかけて実施した新型コロナワクチンの職域接種について、感染拡大の防止および持続可能な地域農業の振興への貢献として、兵庫県農政環境部から感謝状を贈呈されました。

職域接種は、JA・連合会の役職員だけでなく、兵庫県の関係団体の職員もあわせて約4,300名が接種しました。

接種場所についても農業会館の他、JA兵庫六甲（神戸市北区）、JA兵庫西（姫路市）の2か所で出張接種しました。出張接種では近隣のJAに対しても声掛けし兵庫県内14JAのうち、9JAが接種しました。

今後も3回目の職域接種に向けて着々と準備し、スムーズに接種できるよう取り組んでいきます。



感謝状贈呈の様子

(寺田樹李通信員)